

緑の担い手

林業の 担い手として

大子町森林組合

本田 龍也



私は地元の大子清流高校の森林科
学科を卒業し、山の事に興味があり
大子町森林組合に就職することが出
来ました。当時は、仕事について分
からない事が多くありましたが少し
ずつ慣れ、測量や間伐調査など様々
な仕事を行う様になりました。

その中でも、私は緑の雇用研修を
受け林業に対する意識が大きく変わ
りました。特に林業は死亡事故が多

く危険な仕事だと改めて知り、作業
前の確認や点検、防護服を着用する
など、安全に作業することの意識が
高くなりました。

一年目の室内研修では、機械のメ
ンテナンスの仕方や林業の一般的な
知識を学び、実際の現場では、地拵
えや植栽、下刈、掛り木の処理の仕
方などを学んで、現場に必要な技術
を身に付ける事が出来ました。また、
各種林業機械の資格を取得すること
ができてとても有意義な研修でした。
二年目、三年目の研修を終えて、今
では仕事に多いに役立てる事ができ
ました。

私達の仕事は、何十年も受け継が
れてきた大切な森林を守っている組
合員さんへ、少しでも多くの利益が
還元できるように森林の適切な管理
を行っていかねければなりません。
これからの林業の担い手として、林
業に興味を持ってくれる若者が増え
てくれると日本の森林がより良いも
のになると思っています。

組合員さん一人一人と向き合いな
がら、組合員さんに代わり、これか
らの森林をしっかりと管理し、魅力
あるものにしていきたいと思ってい
ます。